

# 香南市農業集落排水事業経営戦略(令和7年7月改定版) 概要

## 1. 改定の趣旨と計画期間

### 1) 趣旨

本事業は、平成7年度に一部地区で供用を開始し、平成15年度に6つの処理区すべてにおいて供用されるようになりました。令和5年度末時点では、計画処理区域373haのうち、211ha(約56.6%)の整備が完了しております。

今後の人口減少に伴う収入減や将来の施設の老朽化に伴う更新需要への対応等、下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増していく状況の中で、将来にわたって、安定的に下水道事業を継続していくために、中長期的な視点で事業経営を行うべく、令和2年3月に「下水道事業経営戦略(令和2～11年度)」を策定し、健全な経営の確保に努めています。

今回、策定から5年が経過し、使用料の改定等を踏まえ、計画の見直しが必要であることから、経営戦略を改定するものです。■**計画期間：令和7～16年度(10年間)**

## 2. 農業集落排水事業の概要と取組状況

### 1) 農業集落排水事業利用状況(R6.3.31現在)及び施設概要

水洗化人口は5,025人(水洗化率65.2%)で、市全体人口の約15.4%の方が利用しております。

【処理場施設の状況】

処理場名称	所在地	処理方式
夜須北部クリーンセンター	夜須町十ノ木	回分式活性汚泥法
母代寺地区農業集落排水処理施設	野市町母代寺	回分式活性汚泥法
佐古地区農業集落排水処理施設	野市町東佐古	回分式活性汚泥法
徳王子クリーンセンターコスモス	香我美町徳王子	連続流入間欠ばっ気方式
上岡地区農業集落排水処理施設	野市町上岡	回分式活性汚泥法
富家地区農業集落排水処理施設	野市町兔田	連続流入間欠ばっ気方式



### 2) これまでの取組

#### ●老朽化対策

令和3年度に農業集落排水施設ストックマネジメント実施方針を作成し、施設の計画的な改築・更新に努めています。

#### ●広域化・共同化

今後、漁業集落排水事業同様、下水道事業の処理区への統合(母代寺処理区、佐古処理区、上岡処理区、中山田処理区を野市処理区へ接続、上夜須・十ノ木処理区、徳王子処理区を夜須処理区へ接続)を検討しております。

#### ●資産活用

太陽光発電施設設置による、空きスペースの有効活用を実施しています。

#### ●地方公営企業法の適用

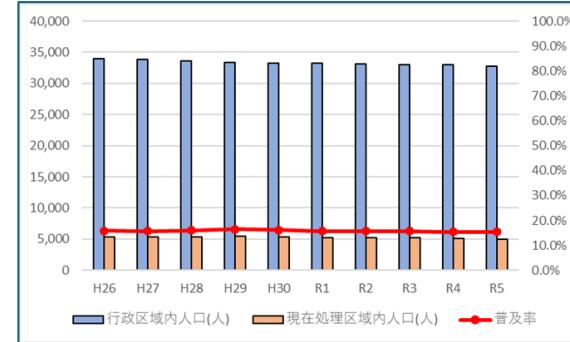
令和2年度より、地方公営企業法の財務規定等を適用し経営基盤の強化・効率的な経営の実現に取り組んでいます。

## 3. 現状の経営に係る状況

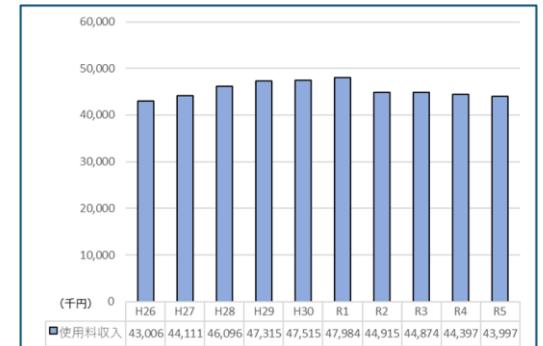
### 1) 収入に係る事項

行政区域内人口は、平成26年度から令和5年度にかけて1,314人(△3.9%)減少しておりそれと比例して、処理区域内人口も346人(△6.4%)減少しています。これに伴って、使用料収入も減少傾向にあります。

#### ➢ 人口の推移



#### ➢ 使用料収入の推移



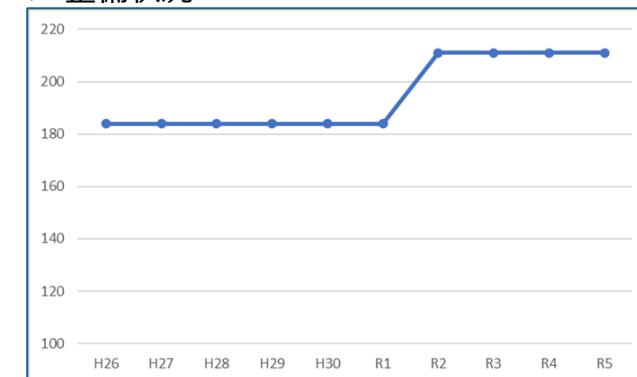
### 2) 支出に係る事項

維持管理費の大部分を占めている減価償却費は、減少傾向にあります。一方で、管渠費は老朽化に伴う修繕費の増加により、徐々に増加しています。また、計画面積に対する整備率は56.6%ですが、今後人口減少も見込まれることから浄化槽による処理を推奨し、新たな整備を実施する予定はありません。

#### ➢ 維持管理費の推移



#### ➢ 整備状況



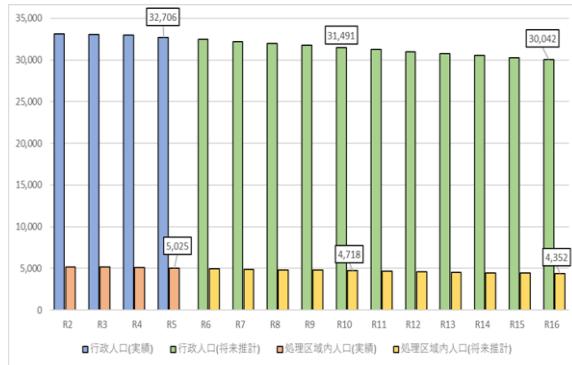
## 4. 将来の事業環境

### 1) 収入に係る事項

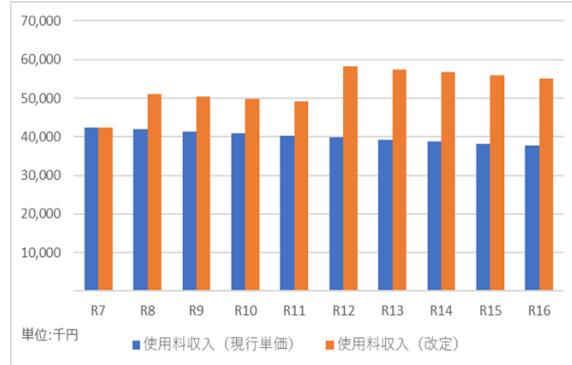
行政区域人口は、令和16年度時点で30,042人（令和5年度比△2,664人）と減少することが予測され、処理区域人口も減少する見込みです。

現行水準は他団体と比較して低く、一般会計からの補助によって経営が成り立っている状況であり、使用料値上げが必要な状況です。下図は、現行水準と改定(令和8年度に22%、令和12年度に20%)した場合で比較しています。

#### ➤ 人口の予測



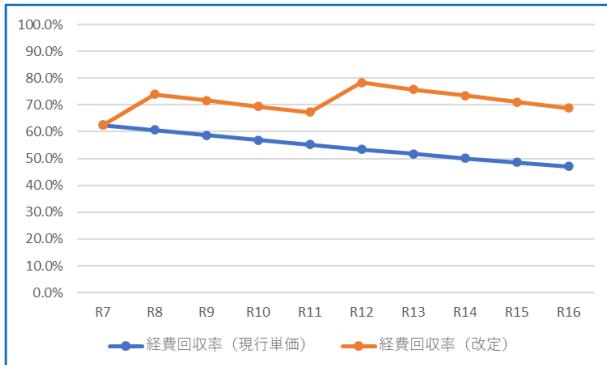
#### ➤ 使用料収入の予測



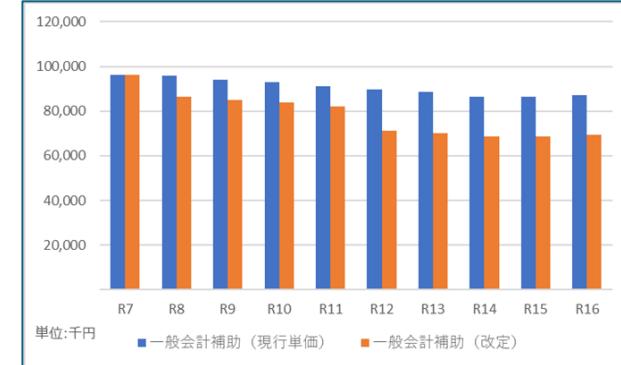
### 2) 経費回収率と3条一般会計補助金の予測

使用料で経費をどの程度賄えているかを示す経費回収率は、使用料改定を実施しない場合、50%を下回ることが予測されます。また一般会計補助金も高止まり傾向にあることから、適切な使用料改定の検討が必要となっています。

#### ➤ 経費回収率の予測



#### ➤ 3条一般会計補助金の予測



### 3) 施設の見通し(将来事業費の概要)

本事業においては整備が完了しており、今後は老朽化対策や地震対策に適切に対応する更新時期に入っています。このため、ストックマネジメント計画による点検や施設更新を実施します。

ただ、財源には限りがあることから、本計画では年間20百万円を上限として優先順位をつけつつ平準的な投資を実施してまいります。

款	項	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
資本的収入		201,408	227,926	177,716	173,085	139,935	106,162	89,341	65,729	47,838	44,656
	企業債	134,900	100,000	65,000	61,000	38,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	補助金	64,868	126,426	111,216	110,585	100,435	94,662	77,841	54,229	36,338	33,156
	分担金及び負担金	1,640	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
資本的支出		247,114	252,852	222,432	221,171	200,870	189,323	155,683	108,458	72,676	66,312
	建設改良費	22,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	企業債償還金	225,114	232,852	202,432	201,171	180,870	169,323	135,683	88,458	52,676	46,312

## 5. 目標指標及び取組

### 1) 目標指標一覧

経費回収率を計画期間最終年度である令和16年度に70%達成、料金改定により使用料単価180円を達成することで、3条一般会計繰入金を現行水準より削減させ、70,000千円以下とすることを目標とします。

指標等	R5(実績)	R11(目標)	R16(目標)
経常収支比率	99.6%	100.0%	100.0%
経費回収率	69.3%	67.0%	70.0%
使用料単価	125.6円	150.0円	180.0円
一般会計補助金額(3条補助金)	113,321千円	83,000千円	70,000千円

### 2) 投資財政計画

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
下水道使用料	42,411	51,098	50,454	49,810	49,166	58,226	57,453	56,680	55,907	55,134
受託工事収益	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37
営業収益計	42,449	51,135	50,491	49,847	49,203	58,263	57,490	56,717	55,945	55,172
管渠費	10,032	10,232	10,437	10,646	10,859	11,076	11,297	11,523	11,754	11,989
ポンプ場費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処理場費	49,690	50,683	51,697	52,731	53,786	54,861	55,959	57,078	58,219	59,384
業務費	1,031	1,051	1,072	1,094	1,116	1,138	1,161	1,184	1,208	1,232
総係費	2,192	2,231	2,271	2,312	2,353	2,395	2,438	2,482	2,527	2,573
減価償却費	135,562	135,957	136,206	136,263	136,001	135,889	135,789	134,356	132,752	131,034
営業費用計	198,506	200,155	201,683	203,045	204,113	205,359	206,644	206,623	206,460	206,212
営業利益	-156,057	-149,019	-151,192	-153,198	-154,910	-147,096	-149,154	-149,906	-150,515	-151,040
長期前受金戻入	91,019	90,918	91,564	92,143	92,615	92,830	93,126	93,416	92,640	91,705
雑収益	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
他会計補助金	96,128	86,487	84,935	83,927	82,171	71,161	70,279	68,580	68,813	69,533
営業外収益計	187,163	177,421	176,515	176,086	174,802	164,007	163,421	162,012	161,470	161,253
支払利息等	26,189	23,485	20,406	17,971	14,975	11,994	9,351	7,189	6,038	5,297
雑支出	4,917	4,917	4,917	4,917	4,917	4,917	4,917	4,917	4,917	4,917
営業外費用計	31,105	28,402	25,323	22,888	19,891	16,911	14,267	12,106	10,955	10,214
経常利益	0	0	-0	0	0	0	0	0	0	0
特別利益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	-0	0	0	0	0	0	0	0
現預金残高	270,318	290,431	290,356	286,390	268,841	228,739	205,060	203,271	218,544	236,218
企業債残高	1,354,647	1,221,795	1,084,363	944,192	801,322	641,999	516,316	437,858	395,181	358,870
経費回収率	62.5%	73.9%	71.7%	69.5%	67.3%	78.3%	75.8%	73.4%	71.1%	68.8%

### 3) 目標達成に向けた具体的な取組

- ①使用料改定の検討・・・区域内人口の減少、および施設の耐震化・老朽化対策に費用を要することから、3～5年毎に改定要否の検討を実施します。
- ②投資の平準化に向けた取組・・・ストックマネジメント計画に基づき、リスク評価を行ったうえで、優先順位をつけながら投資の平準化を図ります。
- ③広域化・共同化の取組・・・県策定の「高知県全域生活排水処理構想」における広域化・共同化が可能な領域がないかを検討します。
- ④包括的民間委託の検討・・・既に複数の業務を事業者へ委託していますが、民間の創意工夫、知識や経験を更に活用するために、包括的民間委託についても検討していきます。

## 6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略期間中において、PDCAサイクルにより計画のフォローアップを行います。また、計画をもとに実施した事業は、進捗管理および財政状況のチェックを実施するとともに、自己評価を行い、原則として5年に一度見直しを実施します。

#### ➤ 経費回収率向上に向けたロードマップ

